

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2012/12/11 実施)～

2012/12/26 作成、参加人数：4名、文責/編集：相澤*、写真 M.K.

*この観察日記は参加者からいただいた感想を基に作成しております。

◇気候・風景・印象

冬晴れの青空の下で、黄金色に輝くコナラや、紅葉したモミジなど、秋の最後の華やぎを満喫しました。キショウブ池に暑さ2センチ弱の氷がはっていました。他の所は5ミリぐらいの薄い氷が広い範囲ではっていました

キショウブ池の氷



氷の厚さはどのくらい？



昨夜かなり冷え込んだのか、キショウブ池には厚さ2センチぐらいの氷がはっていて、ヨシの種の白い綿毛がちりばめられた模様のようにいっしょに凍っていました。反対側のミクリ池の方は同じ種なのに茶色の種の部分がゴミのように浮いていて、足下には春を待つ準備ができた、ウラジロチチコグサ・ヒメジョオン・ハルジオン・オオバコなど野草のロゼットが霜でおおわれ、白く冬を感じさせる一角でした。観察が終わる頃には霜が溶けて生き生きとした姿をいつもどおり見せていました。

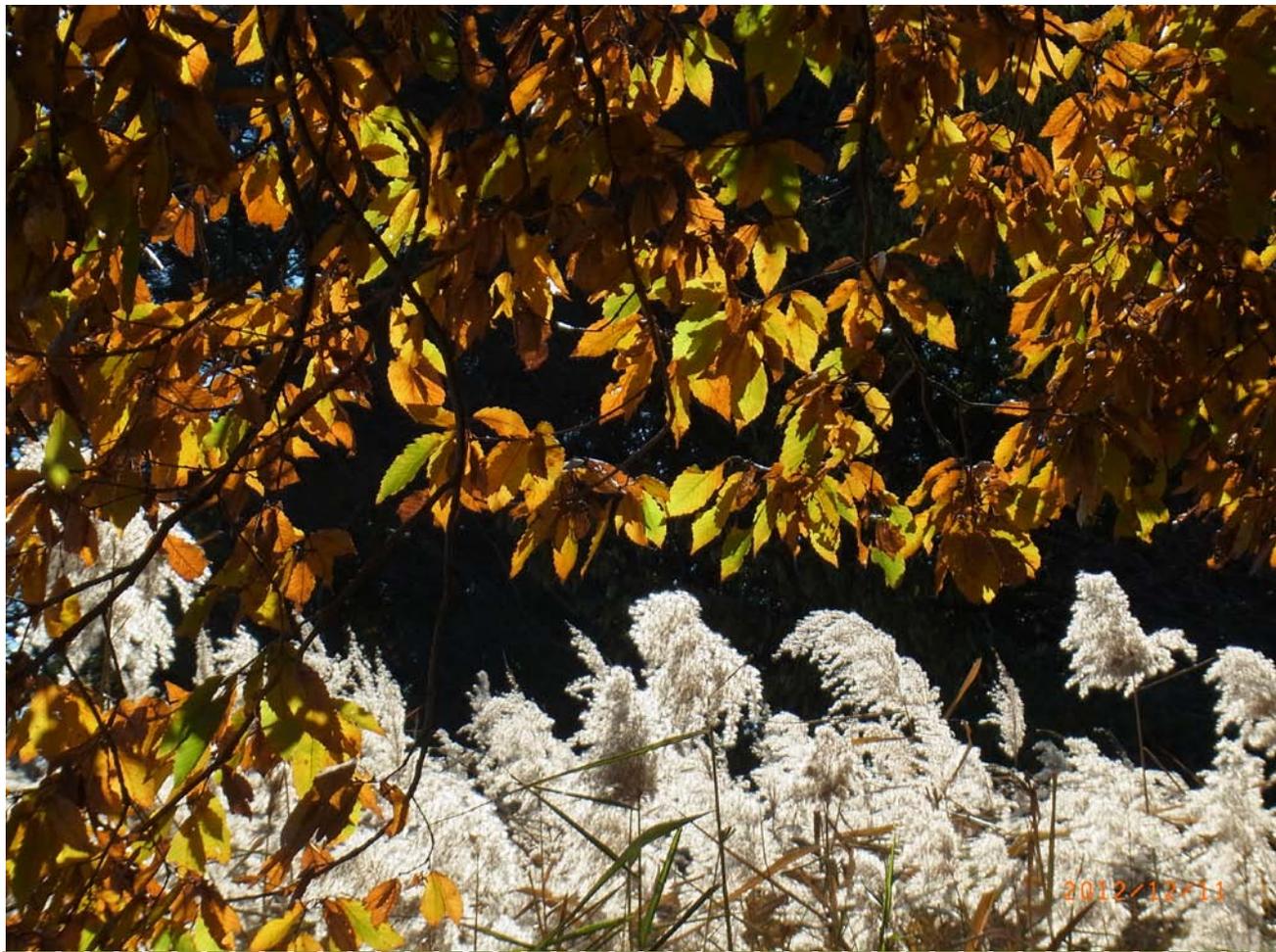


水のあるカルガモ池と北の池には薄く氷がはっていてカモやコサギ・ダイサギの姿は見られませんでした。カラスザンショウの実をメジロの群れが忙しくついでに首が痛くなるまで見上げているときに安心したのか、様子をうかがいにきたのか、アオジがそばのソクズの中に姿を見せてくれました。カワセミの青もきれいで、初めて間近でエサを捕る一連の動きをみました。飛んできたかと思ったら、細い水路の水の流れからエサを捕り、草陰で飲み込んで杭にとまり、飛びたつ瞬間に水をびゅーと吐き出す。ほんの一瞬お見事でした。時間が止まったような冬の景色ですが、春を待つ準備をしている姿が観察できました。

◇生きもの

コナラ

コナラの木の下に立ち、上を見上げると葉をとおして見る陽の光、ヨシの穂の輝きそのあいだから見える青い空、自然が作り出す瞬間の美しさをきょうゆったりと見る事が出来ました。またひとつ宝物が増えました。



桐の実

思っていたより大きな実で中を割って見ると、綿毛が沢山入っていてその細い綿毛の中心に小さな小さな種がついていました。数え切れない数で初めて見たのでびっくりしました。(残念ながら、写真はありません。気になる方は、上の広場に探しに行きましょう!!)

次回の根木内歴史公園の湿地の観察会は**1月8日(火)**に行います(小雨決行)。10:00に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。寒いので風邪をひかぬよう暖かい格好で来ることをオススメします。ロゼットや冬芽、野鳥の観察などができると思います。

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail: akihitoaizawa@gmail.com